



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

子どもたちの安全のため

校長 田山 豊

夏休みも終わり、静まりかえった学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。皆様のご家庭ではどんな夏休みでしたか。今年の夏も暑くて子どもたちにとってもどのように過ごしたら熱中症にならずに過ごせるか、様々な工夫をしながら過ごしたことと思います。夏休み中に子どもたちに大きな事故の報告もなく、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。まだまだ暑い日が続きます。学校でも熱中症対策で WBGT の数値を確認したり、水分補給や休憩をとったりするなど工夫をしています。2学期も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9月1日は『防災の日』です。大正12年（1923年）9月1日に、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9（推定）の関東大地震が発生しました。発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し大規模な延焼火災に拡大しました。日本では、地震や津波・高潮・台風・豪雨・洪水など、自然災害が少なくありません。そのため、自然災害に対する認識を深めることと備えや対策を強化することを目的に、この日を『防災の日』と決めました。

この防災の日を含む一週間は防災週間として、防災の啓発活動や訓練が全国の様々な地域で行われます。本校でも、様々状況を想定した避難訓練を毎月1回実施し、子ども達一人ひとりが自分の命を守るためにすべきことについて指導してまいります。

学校では、学子どもたちの安全を守るために様々な取組をしています。授業中の怪我のほか、サッカーゴールの転倒事故や窓からの転落事故、食物アレルギー・熱中症・感染症などの健康に関わる事故などが起こる可能性があります。「いってきます」と家を出た子供が「ただいま」と元気に家に帰ることは、当たり前なのですが最も大切なことです。例えば、家庭科室の包丁や図工室の段ボールカッターなどの刃物は、ナンバリングをして1対1対応で施錠保管し、使用前後に数の確認をしています。また、嘔吐物などを介して感染症が広がらないよう、消毒や処理の対処セットが用意してあり、決められた手順で対応しています。また、AEDやエピペンを使用した救急救命の研修も実施しています。さらに、教員による施設点検を毎月実施しています。児童自身にも、防犯ブザーの確認（電池切れがないか）、自転車に乗るときはヘルメットをかぶる、暑い日は日傘を利用するなどの、安全を主体的に判断して行動できる力を育みたいと思います。そのために、交通安全教室、情報モラル教育や薬物乱用防止教室なども、学年に応じて計画しています。

保護者、地域の皆様には、校門を閉める、来校者の名札着用、あいさつによる声掛けなどに引き続き御協力をいただきますようお願いいたします。

2学期も児童が安心して学べるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。